



■ 国費外国人留学生受入事業

〈長期課程〉

開発途上国における優秀な職業訓練指導員及び職業能力開発に携わる者の養成・確保への協力を目的に、平成4年(1992)年10月に開始され、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、スリランカ、カンボジア、メキシコ及びラオスの9カ国から毎年16名の留学生を日本の国費で受け入れています。留学生は、来日当初の6ヵ月間は日本語研修を受け、翌年4月に長期課程へ入学して、4年間の訓練を受けます。卒業時には学士の学位が授与され、帰国後は職業訓練指導員または職業能力開発に携わる者として、出身国の人材育成に当たります。

〈研究課程〉

インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンの4カ国から毎年2名の留学生を日本の国費で受け入れています。

同好会・クラブ活動

スポーツや音楽はもちろん、幅広い分野の多様な活動に取り組んでいるクラブ・同好会があります。このうち文化系9、体育系22の計31団体が、大学学校公認学生団体となっています(平成20年度現在)。授業時間が多い本校では活動に当てられる時間が限られていますが、各サークルとも上手に時間を作り出して活発に活動しています。また、自分のやりたいと思うサークルなどが無い場合には、仲間を集めれば新しい会を発足することも可能です。

■ 文化部

ゲーム部、T.C.G部、ロボット部、I.V.S部、フォークソング部、音楽部、漫画研究部、ソーラーカー同好会、学園祭実行委員会

■ 体育部

インラインホッケー部、サイクリング部、サッカー部、自動車部、水泳部、ソフトボール部、ダートライダー部、硬式テニス部、男子バスケットボール部、バレーボール部、軟式野球部、バドミントン部、硬式野球同好会、ダンスサークル、剣道同好会、陸上部、柔道部、バスケットボール同好会、卓球同好会、スポーツサークル、フットサルサークル、弓道同好会

【硬式テニス部】

公式練習を週1回のペースで行っていますが、それだけでは充分とはいえません。足りない分は部員が平日の時間をやり繰りし、自主練習で補っています。また、大学理工連公式戦などの大会にも出場しています。

【ソフトボール部】

週1回の練習で積み重ねた成果は、毎月開催している練習試合で発揮しています。実戦に臨むことは練習への大きな励みにもなるため、対外試合へは初心者も含め、全部員が選手として出場します。

【音楽部】

本校のクラブ活動の中でも、最多の部員数を誇る部のひとつです。野外での公演も含め年4回、定期的に校内ライブを開催しています。また、他大学との交流ライブなども盛んに行い、活発に活動しています。

【ダンスサークル】

比較的新しいサークルです。ダンスの様々なスキル・アップのための練習を週3回行っています。発表の場は校内だけでなくとどまらず、校外のイベントや他大学との合同イベントなどにも積極的に参加しています。

【サッカー部】

サッカー部は週3回の練習をしています。平日の練習は殆どが体育館で行われ、土曜日は外で練習をしています。高校時の全国大会出場経験者も数名いるので、レベルの高い練習をしています。



テニス部



ソーラーカー同好会



サイクリング部



ダートライダー部

卒業後の進路

■ 職業訓練指導員への就職について

本校は、職業訓練指導員の養成を目的に設置された大学校です。職業訓練指導員とは、技能と技術、さらには理論を併せ持つ指導者を意味します。近年の急速な技術革新に伴い、教育訓練内容の高度化、多様化に対する職業能力開発機関などからの要請が高まり、その対処能力を持つ職業能力開発総合大学校卒業生への国内外の期待も大きくなっています。設立以来、本校卒業生は独立行政法人雇用・能力開発機構、都道府県立の職業能力開発施設、法務省矯正施設などの職業訓練指導員のほか、民間企業の教育訓練指導者としても全国各地で活躍しています。

■ 公務員から民間企業まで

職業訓練指導員以外にも、国や都道府県等の行政に携わる事務官及び技官、労働条件や安全・衛生の確保改善を図る労働基準監督官、官公庁、公益法人などの様々な分野で多くの卒業生が活躍しています。また、建設業、製造業、情報通信業を中心に大手民間企業（東証一部上場）及び全国の優良企業の技術職、研究職への就職も多く、指導的立場の技術リーダーとしてその能力を発揮している卒業生も少なくありません。こうした本校卒業生に対する各界からの大きな期待は、ほぼ100%という圧倒的な就職率の高さが物語っています。

■ 適性検査・模擬試験・公務員試験対策について

多くの企業が採用試験のひとつとして実施している適性検査（SPIテスト等）に対応するため、外部の専門講師による対策講座を開講しています。また、模擬試験を長期課程3年生、研究課程1年生の全員が受験し、採用試験の実戦に備えた準備も行います。一方、国家公務員、地方公務員の採用試験には、第一関門の一次試験に教養試験が取り入れられています。都道府県立の職業訓練指導員になるにも、必ず教養試験があります。このため、教養分野の専門講師を招いての公務員試験対策講座を開設し、きめ細やかな指導を行っています。

■ 個人面談について

希望する学生全員に対して、随時個人面談を実施しています。経験豊富な就職係のスタッフが学生一人ひとりの声に耳を傾け、過去のデータや種々の分析をもとに、最新事情に対応した適切なアドバイスを行います。進路の選択に迷った時、就職・進学に向けての具体的な活動方法がわからない時などは、自分だけで抱え込まず、気軽に担当スタッフに御相談ください。また、キャンパス内にある福利会館には、就職希望者のための相談コーナーを設置しています。在学生たちも頻繁にこのコーナーを訪れ、担当スタッフが親身になって対応しています。

■ 就職ガイダンス・セミナー

就職に関するガイダンスは、長期課程3年生及び研究課程1年生から開始しています。就職に対する基本的な心構えから企業を訪問する際の具体的な方法まで、適宜指導していきます。また、民間企業の受験に向けた対策として、専門家を招いての就職対策セミナーを随時行っています。自分の強みを明確に把握するための自己分析をはじめ、その強みをより効果的に企業にアピールする自己PR方法、履歴書やエントリーシートの書き方、筆記試験対策、さらには企業や各業界の研究など、具体的かつ実践的に役立つ多彩な内容の講座を開催しています。

■ 研究課程への進学について

4年間の長期課程で学んだ技術・技能や知識のさらなる向上を目指すとともに高度な研究・開発能力を身につけたい学生に対しては、卒業時の進路のひとつとして進学という選択にも対応しています。本校の研究課程（大学院の修士課程に相当）には、これまでも多くの学生が進学しています。また、本校以外の一般大学院に進む卒業生も、毎年数人程度います。

□ 大学校・学生インタビュー「卒業後の進路」-①



精密機械システム工学科 4年

葛原 広人（平成20年度卒業）

〈就職先〉宮城県・職業訓練指導員

春から宮城県の職業訓練指導員として、離職者や求職者の技術指導に当たります。この学校に入学した頃は指導員に対して漠然としたイメージしかなかったのですが、2年生になり、自分の組んだ指導案で模擬授業を行ったときに、教えることのおもしろさを実感しました。4年生の夏休みには、企業内の認定訓練校で指導の実務実習も体験しました。ここで私が行った授業は、不慣れな点もあり、納得のいく

ものではありませんでした。一体なにが足りないのか？反省を巡らせるうちに「この部分を直せば！」と様々な課題が見え、こうした試行錯誤を通して指導員への興味がさらに深まりました。実習を重視している職業大では、例えば1年生で旋盤やフライス盤といった工作機械の扱い方を週1回、丸一日かけて学びます。その分、授業は夕方遅くまで続くことがありハードですが、整った環境のなかで機械を触りながら技術を習得できた経験は大きく、指導員として生徒に教える際にもとても役立ちます。私の職場となる職業能力開発施設には、幅広い年齢層の方が通われています。職業大での学びを活かし、生徒とのコミュニケーションを大切にしながら、就職面もしっかりサポートできる頼れる指導員を目指します。

卒業生進路先リスト

■ 主な就職先一覧 (旧年度の卒業生の就職先ですので、卒業時の工学科名の表示となっています。)

【機械系】

〈機械制御システム工学科〉

独立行政法人雇用・能力開発機構、防衛省、日本電産(株)、J R東日本(株)、本田技研工業(株)、東芝プラント(株)、アイシン高丘(株)、(学)トヨタ名古屋整備学園

〈精密機械システム工学科〉

独立行政法人雇用・能力開発機構、宮城県、カシオ計算機(株)、T H K (株)、ミネベア(株)、豊田鉄工(株)、日本ガイシ(株)、富士電機システムズ(株)

【電気・電子系】

〈電気システム工学科〉

独立行政法人雇用・能力開発機構、法務省、中央労働災害防止協会、首都高速道路(株)、セイコー工業(株)、(株)きんでん、(株)関電工、三菱マテリアル(株)、本田技研工業(株)

〈電子システム工学科〉

独立行政法人雇用・能力開発機構、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構、国土交通省、パナソニック電工(株)、(株)豊田自動織機、(株)N T T データ、キャノン(株)、(株)関電工

【情報・通信系】

〈情報システム工学科〉

独立行政法人雇用・能力開発機構、兵庫県、郵便局(株)、N E C ソフト(株)、ソフトバンクモバイル(株)、オリンパス(株)、楽天(株)、横河電機(株)、日立電子サービス(株)

〈通信システム工学科〉

独立行政法人雇用・能力開発機構、神奈川県、中央労働災害防止協会、(株)関電工、(株)きんでん、(株)N T T ネオメイト、(株)富士通エクサス、日本コムシス(株)、沖電気工業(株)、(株)協和エクシオ

【建築生産系】

〈建築システム工学科〉

独立行政法人雇用・能力開発機構、中央職業能力開発協会、(株)竹中工務店、大成建設(株)、前田建設工業(株)、ポラス(株)、住友林業(株)、積水ハウス(株)、(株)フジタ、Y K K A P ㈱

(過去3年実績)

■ 主な進学先一覧

東北大学大学院、九州大学大学院、大阪大学大学院、東京工業大学大学院、電気通信大学大学院、筑波大学大学院、埼玉大学大学院、静岡大学大学院、新潟大学大学院、名古屋工業大学大学院、三重大学大学院、早稲田大学大学院、明治大学大学院、日本大学大学院、上智大学大学院、拓殖大学大学院、関西大学大学院

(過去3年実績)

□ 大専校・学生インタビュー「卒業後の進路」-②



電気システム工学科 4年

時田 幸一 (平成20年度卒業)

〈就職先〉富士電機システムズ株式会社

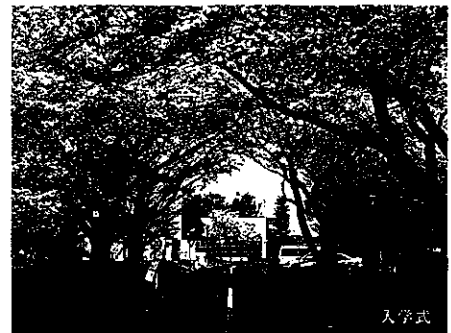
発電機の研究を進めるうち、就職も回転機分野を目指すようになりました。研究室の先生に相談して色々お話を伺うなかで、回転機などを製造している富士電機システムズという会社があり、新入社員に技術を教える職業訓練校も備えていると知り、指導員にも興味を抱いていた私は大きな魅力を感じました。とはいえ、決断にはまだ迷いが残っていました。そんな私に「見学してみても？」と背中を押して

くださったのも先生です。実際に工場に行き、自分の目で現場を見ることで「ここで働いてみたい」と思いました。こうした先生方の細やかなサポートは、生徒と先生の距離が近い職業大ならではのことだと思います。内定は富士電機システムズからいただいたのですが、最初の1年間はグループ内の認定職業訓練校に指導員として配属が決まっています。ここ数年、団塊世代の方たちの退職が増えていく企業では、若手への技能継承が急務になっていると聞きます。その意味でも、ものづくりを実践的に学び、指導法の勉強にも力を入れている職業大の学生には、会社側も一目置いてくれているようです。この期待に応えるべく、訓練校でも工場でも実践力と指導力を発揮できる人材になりたいと思っています。

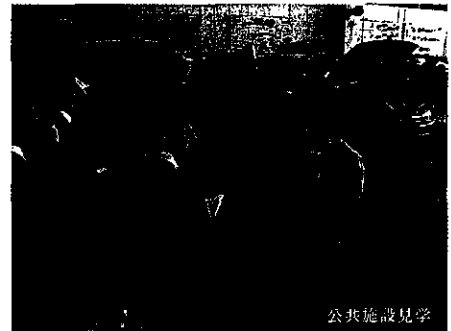
年間行事

職業大ならではの校外授業や多彩な催しが用意されています。校外授業としては、公共の職業能力開発施設や企業内教育施設の見学、実務実習、インターンシップなどの機会が設けられ、職業能力開発や民間企業の訓練・生産現場の状況を実地で体験的に学びます。また、「能開祭」と呼ばれる大学祭や、構内の周回道路を利用した駅伝大会も開催されています。各サークルや研究室などで参加する学生も多く、毎年大いに盛り上がっています。

4月	入学式、新入生ガイダンス(1年生) 授業受講申告 定期健康診断 就職ガイダンス(4年生)
6月	企業内教育施設見学(2年生)
7月	〈オープンキャンパス〉 前期定期試験
8月	〈オープンキャンパス〉
9月	前期集中実習(1・2年生) 実務実習(3年生) インターンシップ(4年生) 合同就職セミナー(1・2・3年生)
10月	公共職業能力開発施設見学・討議(2年生)
11月	能開祭
1月	駅伝大会 後期定期試験
2月	後期集中実習
3月	卒業式



入学式



公共施設見学



能開祭



駅伝大会

付属施設紹介

約24万㎡の広大なキャンパス。この地を訪れた人の第一印象は、「豊かな緑に囲まれた大学校」という言葉に集約されます。木々に小鳥がさえずり、芝生広場に学生たちが憩い、花壇には季節を謳歌する花々が咲き誇ります。そして、キャンパス内には、最先端機器を備えた教育訓練施設の数々を配置。保健管理センターをはじめ、体育館やテニスコート、食堂や喫茶室、売店などの施設も完備し、健康やスポーツ、福利面の充実にも努めています。

■ 付属施設

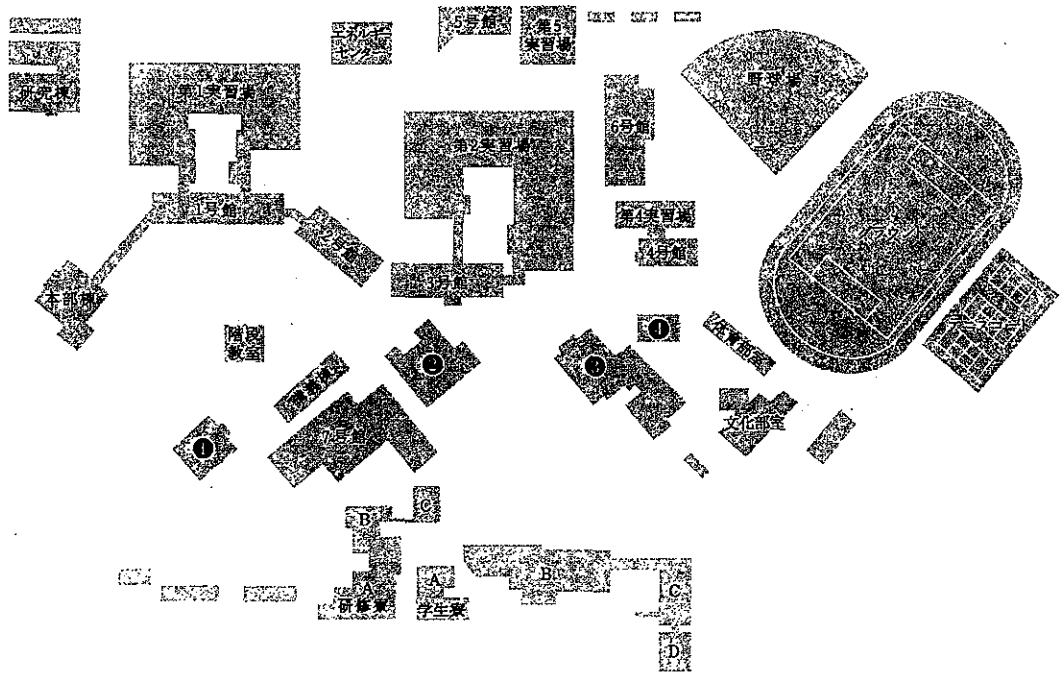
① 図書館

技術・工学系を中心に約15万点を蔵書しています。特に、職業能力開発分野の資料収集に力を入れています。また、「ものづくり」「人づくり」のための資料や職業能力開発に関するテキスト類のコーナーを設置しているのが特徴です。



② 福利会館

1階には食堂、喫茶コーナー、生協があり、食堂では定食や麺類などを廉価で提供しています。喫茶コーナーには学生が和気あいあいと集い、生協では文具や雑誌・書籍、食料品も扱っています。また、2階にある和室は、個人やサークルの集会にも活用されています。



③ 体育館

メインフロアはバスケットボール、バレーボール、バドミントンなどに利用でき、健康科学の授業や、運動部やサークルの活動の場となっています。なお、武道場は柔道、剣道の稽古に使用しており、男女のロッカールームにはシャワールームが設置されています。



④ 保健管理センター

身体・メンタル両面での健康維持と成長を支援しています。センター内の医務室では怪我や病気の応急処置と保健指導を行っており、体力相談室では各種プログラムに沿ったトレーニングが可能です。また、相談室ではカウンセラーが様々な不安や悩みに対応しています。



■ 一般的な質問

Q1 大学と大学校とは何が違うのですか？

「大学」が文部科学省の管理下にあるのに対し、それ以外の省庁が所管している高等教育機関が「大学校」です。大学校は、業務に直結した教育や人材育成の場として設立されています。このため、将来を見据えた目標・目的が明確に打ち出され、その実現に向け、より実践的な能力育成に重きを置いた“学び”が提供されているのが特徴です。

Q2 職業訓練指導員の仕事は何ですか？

工業高校の教員が最も近いイメージでしょう。異なる点は、指導の場が都道府県や(独)雇用・能力開発機構等の公的な職業能力開発機関、また企業が設置する認定職業訓練施設であることです。そして、その受講生(職業訓練生)に対して、さまざまな仕事の能力を付与して就職に結びつけることの他、既に働いている人たちに対して、それまでに獲得した技術・技能をさらに向上させ、仕事に活用することも行います。

Q3 職業大が一番の特色としていることは、どんなことですか？

一般の大学と違い、職業訓練指導員の養成という目的のために設立された目的校であることです。言い換えれば、各職業能力開発施設の先生を養成している学校と言えます。このため、一般の大学が行っている授業の科目に加えて、実際に手を動かし、器具や測定機器を使ってものを作製する「実習」を多く取り入れたカリキュラム編成になっています。また、職業能力開発施設における指導現場での指導方法などを学ぶ「能力開発科目」と呼ばれる教科も重視しています。これらは職業訓練指導員の養成に必要な学習ですが、民間企業などに就職する場合でも、即戦力として役立つことをアピールできるとても有用な科目です。

Q4 この学校に向いているのは、どんな人でしょう？

一般的には「各工学科の専門的な知識や技術・技能を習得したい」という人たちですが、具体的に挙げると… ① 職業訓練指導員を目指す人 ② 自分で手を動かして「もの」をつくるのが好きな人、あるいはつくってみたいと思っている人 ③ 他人に「ものごとを教えること」が好きな人、あるいは教えたいと思っている人 ④ 他人とのコミュニケーション能力を高めたい人 ⑤ 社会に貢献したいと思っている人 ⑥ 一般の大学と比べて、より実践的な技術や技能を身につけたい人

⑦ 教員と学生が密接に関わることのできる、少人数での教育を望む人 ⑧ 低廉な学費で、最高の知識、技術・技能を身につけたい人——以上の方々が、目的校である本校の趣旨や授業カリキュラムなどに向いていると思われます。

■ 受験に関する質問

Q5 入学に年齢制限はありますか？

長期課程の一般入学試験については、特に年齢制限はありません。但し、推薦入学試験の種別によっては受験資格として、高校の卒業年度についての制限がありますので、各推薦入学試験の募集要項でご確認ください。

Q6 推薦入学も可能ですか？

推薦入学も可能です。募集要項に推薦入学試験についての詳しい記載がありますので、そちらをご覧ください。

Q7 どこの都道府県からの入学者が多いのですか？

入学者の出身高校は、ほぼ全都道府県にわたっています。傾向としては、九州・沖縄地区や中部地区からの入学が比較的多いようです。

■ 学科に関する質問

Q8 授業について、実習が多いことはどのような意味がありますか？

実習に多くの時間を割り当てていることは、職業大の大きな特徴のひとつです。実習とは、手や器具、工具などを使って行う「ものづくり」の実践であるため、実際の作業現場を想定した実務的な授業になっています。こうした実務的な「ものづくり」を幅広く日常的に行うことにより、卒業時まで大きな実践力を培えるのが、本校独自の実習重視のカリキュラムなのです。

Q9 各学科で学べるのは、どんなことですか？

本パンフレットに各工学科の概要説明がありますので、そちらをご覧ください。なお、Q3やQ8にも記しましたように、各工学科とも「実習」の時間に実際にものをつくるための技術を身につけたり、指導員として人に教えるための職業訓練指導方法などを実践的に学ぶこともできます。

Q 10 「能力開発科目」とはどんな授業ですか？

ひとことで言えば、一般の大学で開講されている「教職科目」に近いイメージです。ただ、教える(指導する)相手が一般社会人であり、就職や職業能力の向上といった明確な職業意識を持った人たちである点が大きく違います。このため、授業の内容も「教職科目」とは大きく異なり、職業訓練指導員の仕事をスムーズに担当できることを目指したカリキュラムとなっています。

Q 11 専門科目だけでなく、教養科目の授業もあるのですか？

一般の大学の教養科目に相当するものとして「基礎科目」があります。その内容は、英語・ドイツ語・スペイン語といった語学、人文社会科学、健康科学、数学、物理学、化学など多岐にわたっています。

Q 12 「長期課程」と「研究課程」の違いはなんですか？

「長期課程」は一般の大学でいう4年制大学部分で、「研究課程」は大学院の修士課程に相当します。呼び名は異なりますが、一般の大学や大学院と同等の教育が施されています。

■ 学生生活に関連する質問

Q 13 日本学生支援機構奨学金は本当に借りられないのですか？

日本学生支援機構奨学金とは以前の日本育英会の奨学金のことですが、職業大では独自に「技能者育成資金」という奨学金を用意しているため、日本学生支援機構奨学金の対象にはなりません。この「技能者育成資金」とは全国の職業能力開発施設で学んでいる学生を対象とした奨学金で、日本学生支援機構奨学金に準じた取り扱いとなっています。

Q 14 学生寮に入れますか？ また、女子でも入寮できますか？

収容人数444名の学生寮(全室個室)を用意しています。予定では70名程度を募集いたします。(男子・女子ともに入寮が可能です)入寮に当たっては、ご両親の収入や家族状況などの情報を提出していただき、入寮選考の資料としています。なお、空室が発生した際は、再募集を行っています。また、留年や休学した場合、退寮となることがあります。

Q 15 授業時間が多いそうですが、部活やアルバイトはできないのですか？

本校では授業時間が多い分、勉強以外のことに当てられる時間が限られていますが、学生の皆さんは時間を使い、サークル活動やアルバイトなどにも積極的に取り組んでいます。

Q 16 入学金と授業料を教えてください。

入学金は282,000円(平成21年度より納入)、授業料は年額535,800円(平成21年度実績)で、国立大学と同等額となっております。入学金と授業料については、改訂されることがありますので、その点をご留意ください。

■ 卒業後・就職に関連する質問

Q 17 卒業後は、どのような企業に就職している人が多いのですか？

本校は目的校であるため、その目的である職業能力開発施設において職業訓練指導員として活躍する卒業生が数多くいます。また、法務省の各矯正施設で法務技官として能力開発の現場に携わる卒業生や、さらに国家公務員、地方公務員、一般有名企業の理工系部門などに就職し、広く社会でその能力を発揮しているOB・OGも数多くいます。

Q 18 卒業時に得られる資格は何ですか？

本校卒業時には、職業訓練指導員免許が取得できます。また、Q12にもあるように、一般大学と同様に長期課程卒業者は「学士」、研究課程修了者は「修士」の学位を得ることができます。

Q 19 就職や進路を決める上で、何かサポートはしてもらえるのでしょうか？

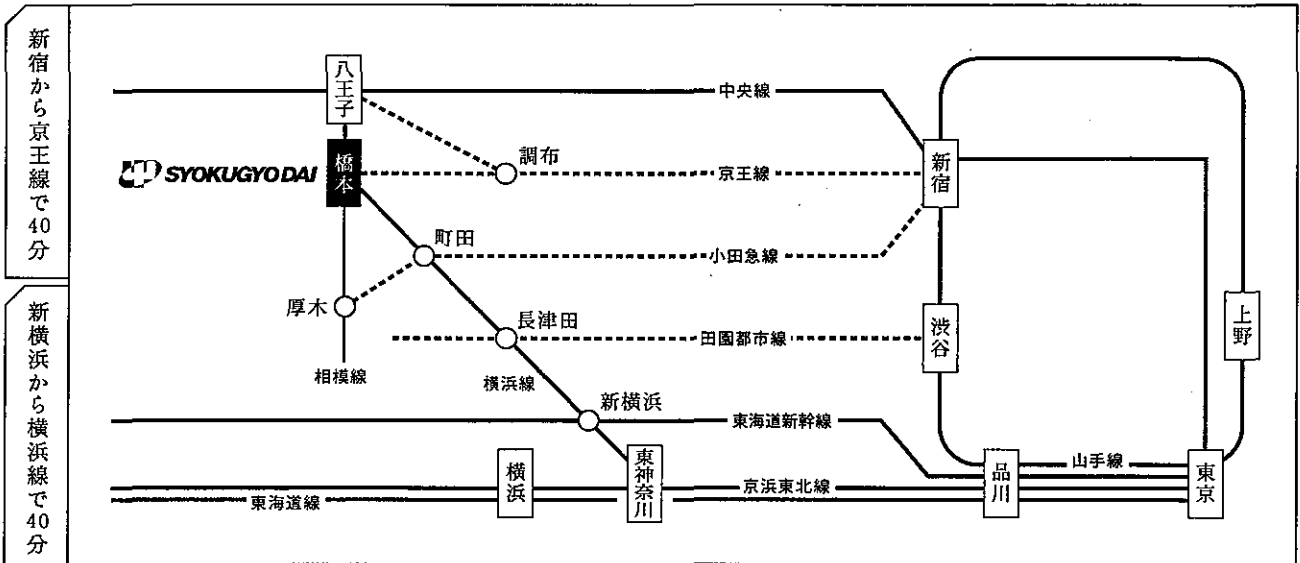
職業訓練指導員としての就職については、職業訓練指導員就職支援センターを設置し、専門的な支援やアドバイスをを行っています。公務員志望者や民間企業への就職希望者には、早い時期から就職ガイダンス等の開催や豊富な情報提供を行っています。また、本校は全国の上場企業などから大きな期待と高い評価をいただいております。優良企業との良好な信頼関係の構築に日々努めています。

Q 20 研究課程に進むには、どんなことが必要ですか？

特別な条件などはありませんが、研究課程への入学試験を受験し、合格することが必要となります。

アクセスマップ

■ 交通アクセス



■ 周辺マップ



独立行政法人雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校 学生部学生課

TEL：042-763-9023 FAX：042-763-9214

〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4-1-1

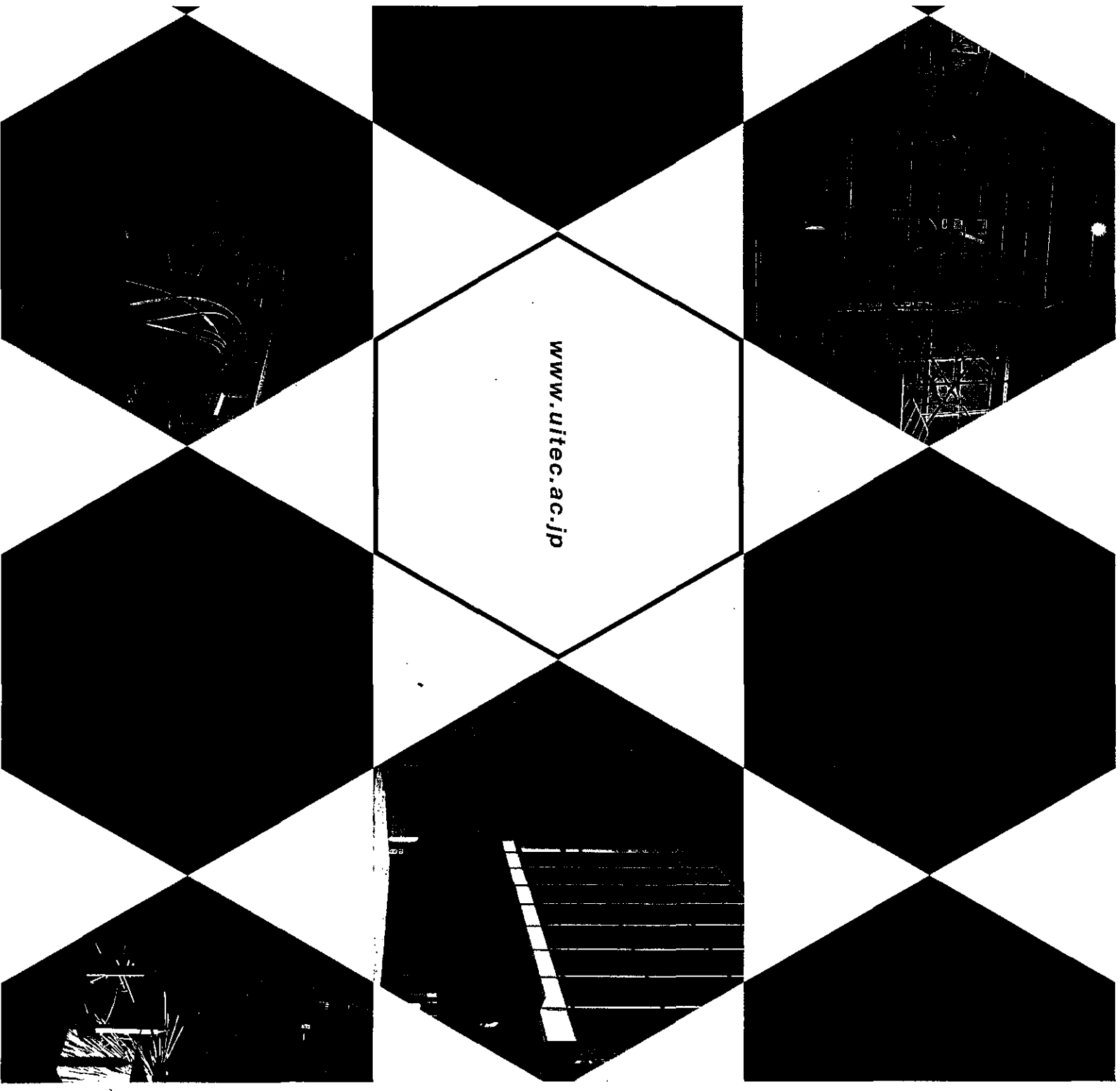
<http://www.uitec.ac.jp/>

e-mail：gakusei@uitec.ac.jp

*本誌の著作権は、職業能力開発総合大学校に帰属いたします。

*本誌に掲載されている写真、イラストレーション及び
文章の無断転載、使用を禁止いたします。

2009年4月発行



訓練指導員に関する訓練施設に対するヒアリング(概要)

○調査方法

都道府県立職業能力開発施設、法務省矯正施設、認定職業訓練施設(10施設)に対し、ヒアリングを総合大が実施(平成20年3月)

都道府県 校長(談)

総合大出身者は、指導員は何をすべきか、指導員とはどのようなものかを一般大学卒業者に比べて明確に把握している。

さらに、一般大学卒業者と比べると訓練指導は特に秀でたものがあり、総合大出身者全員が施設の中心的な指導員となっている。

技能・技術訓練を受け、指導技法を学んでいる。必要となる訓練の内容を学んでいるので、コーディネート能力が高く、指導内容に偏りが少ない。

体系的な学習をしており、知識に裏付けされた技能を持ち、指導に活かせる。

総合大卒業時には指導員免許は取得しているが、実践力不足。実務実習等を更に充実させ、一層即戦力となる人材を育成して欲しい。

矯正主管部局 担当官(談)

法務省施設でも中心的な役割を担って率先して受刑者への職業訓練業務に当たっている。

さらに、作業専門官には、現状、多様な指導員免許職種が求められており、総合大出身者は一分野の指導員免許分野の訓練だけでなく、採用後も矯正局内で必要とされる多様な分野の指導員免許(建設機械分野等)を積極的に取得し、訓練を実施している。

認定短大校 管理職(談)

ものづくり技術を有するとともに、職場をまとめる力、高い改革意欲など職場環境を変える力があり、総合大卒は優れている。

訓練指導員に関する都道府県の訓練施設に対するアンケート(概要)

I アンケート実施概要

- 1 調査方法 : 47都道府県を通じ、訓練施設の長に対するアンケート
- 2 調査対象施設数 : 194(職業能力開発校166、職業能力開発短期大学校11、障害者職業能力開発校17)
- 3 調査票回収施設数 : 189(職業能力開発校165、職業能力開発短期大学校9、障害者職業能力開発校15 回収率97.4%)
- 4 調査実施時点 : 平成22年1月13日

II アンケート結果概要

1 訓練指導員の属性

- 都道府県の職業訓練施設における総合大卒の訓練指導員の占める割合は、約4分の1である。
- 総合大卒の指導員と総合大卒以外の指導員との間では、勤続年数及び中途退職割合に差異はほとんどない。

(1)指導員数

- ①総合大卒 : 579人(指導員全体の25.1%)、
- ②総合大卒以外 : 1,730人(指導員全体の74.9%)

(2)平均年齢、平均勤続年数

- ①総合大卒 : 平均年齢40.3歳、平均勤続年数:14.9年
- ②総合大卒以外 : 平均年齢47.2歳、平均勤続年数:16.4年

(3)最近10年間の中途退職の割合

- ①総合大卒 : 5.3%
- ②総合大卒以外 : 4.6%

2 総合大卒の指導員の能力・評価

- 総合大卒の指導員に対する評価を見ると、施設における訓練実施に大いに役立っている(約9割)。
→ 下記1
- 個々の評価項目については、いずれの項目についても、「総合大卒以外の指導員と比べ違いがない」との回答の割合が最も高いものの、①担当できる訓練コースの幅、②教材やカリキュラムの開発・改善、③担当科目に係る専門的知識・技能・指導力、といった項目について、「総合大卒以外の指導員より優れている」とする評価が多い。
→ 下記2-1~2-7

1 総合大卒の指導員が、施設における訓練実施に役立っているか。

- ①役に立っている:89.4%、②役に立っていない:1.3%、③どちらともいえない:9.3%

2-1 指導員の担当科目に係る専門的知識・技能、訓練受講生に対する訓練の指導力

- ①総合大卒以外の指導員より優れている:25.3%、②総合大卒以外の指導員と比べ違いがない:70.9%、
③総合大卒以外の指導員よりも劣っている:3.8%

2-2 指導員の担当できる訓練コースの幅

- ①総合大卒以外の指導員より優れている:39.2%、②総合大卒以外の指導員と比べ違いがない:57.0%、
③総合大卒以外の指導員よりも劣っている:3.8%

2-3 教材の開発・改善、カリキュラムの見直し・改善等

- ①総合大卒以外の指導員より優れている:29.9%、②総合大卒以外の指導員と比べ違いがない:67.5%、
③総合大卒以外の指導員よりも劣っている:2.6%

2-4 他の指導員に対する訓練技法等の指導・助言、リーダーシップ力

- ①総合大卒以外の指導員より優れている:15.3%、②総合大卒以外の指導員と比べ違いがない:80.2%、
③総合大卒以外の指導員よりも劣っている:4.5%

2-5 訓練施設全体の運営面(目標設定、訓練実施分野や指導方法)の企画・改善

- ①総合大卒以外の指導員より優れている:16.7%、②総合大卒以外の指導員と比べ違いがない:80.1%、
③総合大卒以外の指導員よりも劣っている:3.2%

2-6 ポリテクセンター等との連絡・調整など、地域ネットワークの構築・参画

- ①総合大卒以外の指導員より優れている:19.6%、②総合大卒以外の指導員と比べ違いがない:77.8%、
③総合大卒以外の指導員よりも劣っている:2.6%

2-7 求人開拓、求人企業への訪問、受講生に対する相談・助言等、訓練受講生への就職支援

- ①総合大卒以外の指導員より優れている:8.3%、②総合大卒以外の指導員と比べ違いがない:86.0%、
③総合大卒以外の指導員よりも劣っている:5.7%